

# 目黒川クルーズ 2023



2023年4月

旅のチカラ研究所 植木圭二

友人たちと東京目黒川の花見をするために旅行会社が主催する「目黒川お花見クルーズ」に参加してきた。直前でトラブルも起きたが、終わってみれば楽しい旅になった。

## ■クルーズ企画

今回一緒に目黒川クルーズを楽しもうとしていたメンバーは、今から44年前の春に同じ会社に入社した同期入社メンバーたちで、毎年のように一緒に旅行をしている。長い付き合いなので、いわゆる気の置けない仲間たちだ。そんな連中なので私は軽い気持ちで準備を進めていた。



【目黒川お花見クルーズのパンフレット】

## ■緊急事態発生

当日、自宅を出る時刻に近くなった頃、私は旅行会社から届いた書類をカバンに詰めようとしていたら、1枚のお詫び文が出てきた。そこには集合場所と集合時間が変更になった旨が記載されている。16時20分に天王洲アイル桟橋集合が、16時00分品川駅に変更になっている。

私は慌てて旅行会社に電話をして、なぜ変更になったのか、変更前の場所と時間でも問題ないかを問い合わせる。何しろ数日前に予約確認をして仲間たちには遅れないように念押しの連絡をしていた。

ところが旅行会社の回答は、「以前の行程ですと、パック旅行にならないので全国旅行支援を適用させるために変更しました。直接集合場所に行くと全国旅行支援適用できません」と言っている。1枚ペラの訂正文では見逃すのは当たり前だとか、予約確認の電話を掛けた際には何も言われなかったと食い下がるが取り合ってくれない。

見逃した理由は、私が参加人数を10人から9人に変更した時に書類が送られてきて、私は人数変更だけだと勝手に思って書類を確かめなかった。よく見ると変更後の行程表もあって、私の方の分が悪い。

全国旅行支援が適用になると5980円のツアー代金が2割引になり、2000円のクーポン券が付くので、都合3000円強お得になる。その金額ならば、仲間たちは許してくれるとは思いますが、予約確認までしてこの失態では、私のプライドが許さない。

私は電話を切って家を飛び出したが、新しい集合時間まで1時間20分しかない。すぐに仲間たちに“緊急事態発生”のLINEを入れて、LINEがないメンバーにはショートメールを入れる。

次々と返信のLINEが入る。一番遠い岩手県から来る仲間は既に着いて品川付近で飲んでいるという。次に遠い静岡県の仲間は余裕で間に合うとの返信がある。面白いことに遠い順に早く着いている。

ショートメールをした仲間は比較的近いので心配になる。電車を一旦降りて電話を掛けると、彼はまだ見ていないという。そのまま用件を伝えて、間に合いそうだと分かる。

そして集合時間10分前には全員集合となる。

これはチームワークと昨今のIT技術の力か、と感心する。44年前ならば絶対に間に合わなかっただろう。



【集まった同期入社メンバー】

バスに乗り天王洲アイルの栈橋まで移動する。バスを使うこともない距離なのにこうしないと全国旅行支援の補助金が出ないとは、何か腑に落ちない。44年前の方が融通は効いただろう。

## ■目黒川の花見

オープントップのクルーズ船に乗り込む。今回のツアー全体の参加客は42人、クルーズ船は満席になっている。私たちは最も見晴らしの良いクルーズ船の最前列付近に陣取り、出港する。

船上では私たちと同じくらいの年齢の男性ガイドが様々な説明をしてくれる。

彼の話では、目黒川のお花見クルーズは今や人気のクルーズになっており、その理由は目黒川兩岸の桜の木は1500本もあり、上野公園の1000本を上回っているからだと言っている。

船が移動するので、座ったままで次々に様々な風景と共に桜の花を見ることができる。桜は陽光を求めて枝が伸びるので、枝は水面に反射する陽光を求めて川にせり出している。従って川から見た方が桜の花は綺麗に見えることになる。

目黒川には橋が多く架かっており、ガイドの話では26本の橋が架かっているという。そしてその橋の名前や由来、歴史的な背景も話してくれるのもありがたい。花見をしながら江戸・東京という街や道路のエピソードも聞かせてくれる。

目黒川は今まで何回も氾濫している。それに備えて東京都は大量の水を逃がす調節池を整備している。その荏原調節池が目の前に大きな口を開けている。クルーズ船ではない限り、こんなに大きく見ることはできないだろう。



【目黒川の荏原調節池の取水口】

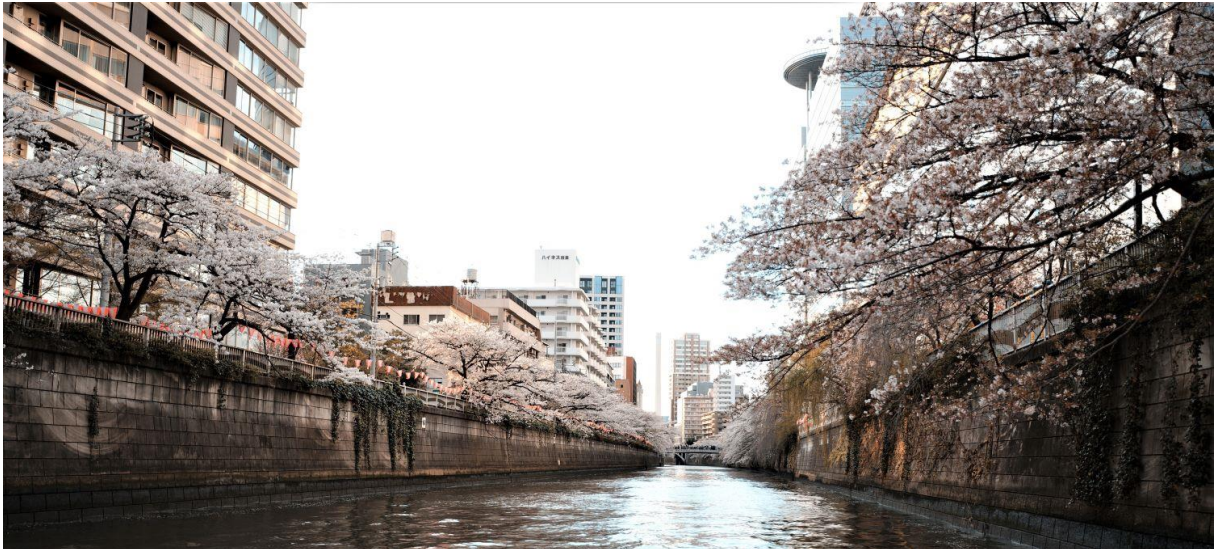
そんな話を聞きながら、目黒川の兩岸からは見事な桜が我々を歓迎してくれる。満開を少し過ぎた頃なので水面には花筏（はないかだ）も見える。花筏とは散った花びらが水面に浮かんでいる様子を言うもので、実に風情がある言葉だ。

クルーズ船は目黒雅叙園の手前でUターンして戻っていく。残念ながらその少し向こうに私たちが勤務していた会社があったので残念でしょうがない。

ガイドはこの先は水深が浅くなるからと言っているが、その理由に納得している仲間はいない。

これから先は川幅が多少狭くなり、水量はあまり変わらないから相対的に水深が深くなる。そしてその先の方が桜の木が多く綺麗なことを皆が知っている。

仲間の誰かが「あそこまでが品川区で、その向うは目黒区だから政治的な問題かもしれない」と言っている。私も仲間たちも彼の言葉に納得する。44年前はそんな大人の事情などは考えもしなかった。



【目黒雅叙園の手前】

#### ■打ち上げ

パック旅行なのでクルーズ船から降りても観光が付いており、増上寺にバスで移動して東京タワーと増上寺のコラボレーションを見学する。品川駅に戻って来た頃は既に暗くなっている。

クルーズ船に乗っている間もバスの車中も飲食禁止なので、皆は喉が渴いたと訴えている。それは水が飲みたいのではなく、ビールが飲みたいという意味だ。この仲間が集まってビールも飲まずに3時間以上一緒にいるのも珍しい。

しかし本日は金曜日、しかも月末、期末でもある。そして今は19時、仕事帰りのサラリーマンが飲みに行く時間だ。

旅行支援のクーポン券が1人2000円あり、それが使える店を何軒か当たってみるもどこも満員で入れない。クーポン券を無視しても居酒屋は全く空いていない。もはや完全に“宴会難民”になっている。

そんな時にカラオケボックスが目にとまる。しかもクーポン券が使用できるとも書かれている。一般的にはカラオケボックスは1次会が終わった後に入るのだから、店はまだ空いている。

早速私たちはカラオケボックスに入り、歌も歌わずにビールで乾杯する。個室なので回りを気にすることもない。そんな裏技も44年間の付き合いの気の置けない仲間だからできることだろう。

パック旅行に付いていたカツサンドを食べながらの宴会は盛り上がる。

後日調べたら、クルーズ船を直接予約すれば 3900 円で利用できる。ただパック旅行には 1000 円相当のカツサンドが付いており、旅行会社の値段設定は理解できる範囲になっている。

自由度や単純にコストだけを考えると旅行会社を通さない方が良いが、全国旅行支援の恩恵は受けられないから、今回は結果的には良かったかもしれない。

#### ■旅の記録

実施は 2023 年 3 月 31 日（金）の日帰りで、その行程を以下に示す。

- ・ 14 時に集合場所が変更になったことに気づき旅行会社と連絡をとり、  
13 時 40 分に自宅を出て参加者たちと連絡をとりながら品川駅へ向かう
- ・ 15 時 40 分品川駅着、ツアー受付をして、16 時 20 分バスに乗って天王洲アイルへ  
16 時 40 分クルーズ開始、70 分間クルーズ乗船、
- ・ クルーズ終了後にバスで増上寺へ、30 分見物後に 19 時品川駅解散、打ち上げ宴会へ

1 人当りの費用は約 7000 円で、以下のようになった。

- ・ ツアー代金（阪急交通社支払い） 4784 円（本来 5980 円だが、全国旅行支援適用）
- ・ 電車代 約 1000 円（自宅～品川駅往復）
- ・ 打ち上げ 約 1000 円（全国旅行支援のクーポン券 2000 円使用）